

館林七福神巡り山行報告

【山行日】 2017年 1月 4日(水) 晴れ
【集 合】 岩舟支所P AM 8:00
【費 用】 マイカー1台 : 500円
【メンバー】 CL:鈴木ユ 岩淵、大西、梶内、島田、
関、田村

【コースタイム】岩舟支所 P8:00=茂林寺 8:30/8:45=
館林市役所 P9:00~長良神社 9:30/9:45~
尾曳稲荷神社 10:20~善長寺 10:40/11:00~善導寺
11:20/11:35~館林市役所 12:20/13:30=普濟寺 13:50
=雷電神社 14:10/14:30=岩舟支所 P15:00

2017年の歩き始めは、館林七福神巡りを計画した。

岩舟支所駐車場を8時に出発し、最初の七福神「大黒尊天」が祀られた茂林寺へ向かう。茂林寺は館林市街を抜け、少し離れた所にあるので車で行くことにする。広い観光用の駐車場に着くと、我々が一番乗りだ



った。トイレを済ませ参道を通り、山門をくぐると大きなタヌキの焼物が出迎えてくれる。本堂へお参りし大黒尊天に向かうと、開堂は9時からとなっていて入れない。1月3日から七福神巡り『歴史とご利益の巡拝コース』が催され、「宝船色紙」を購入すると参拝印を押してもらえる。I 淵さんと T 村さんが色紙を購入し、茂林寺の御朱印を押印していただく。住職の話では、毎年新しいものと取り換えるとご利益は格別との事である。二人にどんな御利益があるか、一年間見守って行くことにする。駐車場に戻ると、観光客の車が数台止まっていた。

ここから車で館林市役所へ向かい、市役所前の駐

車場に駐車する。駐車場を出て左に進み、県道佐野・行田線を北に向かい「瀬戸谷」交差点を左折し直進す

ると長良神社に着く。長良神社は恵比寿神が祀られ、商売繁盛・縁結びの神として信仰が篤い。

社務所のトイレを借りると、宮司さんが甘酒をふるまってくれ、皆でストーブを囲んで美味しくいただく。

本殿に上がり一年間の無病息災をお願いし、来た道を市役所まで戻る。市役所前を通り過ぎ「向井千秋記念子ども科学館」の芝生広場を横切り、「田山花袋記念文学館」の先を左折すると尾曳稲荷神社に着く。

今回は正門から参拝し、赤い鳥居が立ち並ぶ参道を通り本殿にお参りする。本殿の裏側に弁財天が祀られた社があり、知恵と財福の恵みをお祈りする。

ここから城沼沿いにウォーキングコースが整備され

ており、15分程歩くと善長寺に着く。寺の前にテーブルとベンチがあり、コーヒーと菓子を食べて休憩を取る。

風も無く穏やかな天気にも恵まれ、のんびりとコーヒーを楽しんだ。善長寺は本堂の建て替えが行われていたが、大きく立派な本堂に皆驚いていた。社務所前で甘酒が振舞われており、皆さん美味しいといただいていた。ここからさらに城沼沿いに東進し、広い駐車場の先を左折して善導寺の正門に回り込む。



善導寺は館林藩榊原家の菩提寺で、1300年の歴史を持つ名刹。本堂裏の墓地には、藩主榊原康政公の墓がある。次の普濟寺と雷電神社は距離があるので、市役所に戻り昼食を食べてから車で向かうことにする。城沼に出てつつじ橋を渡り対岸に出て、南岸を歩いて市役所に向かう。南岸には水鳥の観察所や、有名な「つつじが丘公園」がありとても楽しく歩ける。ツツジの季節には大混雑のつつじが丘公園も、人影は少なく無料で入園出来る。つつじが丘公園の先も、多目的広場が整備され蠟梅が咲きだしていた。ふれあい橋を渡って対岸に出て、鶴生田川沿いに進むと市役所駐車場に



着く。荷物を車に置き、市役所内のレストランでランチタイム。各々好きなものをオーダーしたが、どれも我々シルバー隊にはボリュームがありすぎた。

市役所を後にし、車で普濟寺に向かう。普濟寺は城沼の南側1Kmに位置し、しだれ桜が有名な寺。

七福神巡りの団体が賑わっており、山門の外にある布袋尊の前で記念写真を撮り雷電神社へ向かう。

途中、I 渚さんの案内で野菜直売所に寄ったが、開いて無くそのまま雷電神社に向かった。神社の裏側に駐車場があり、満車であったが通路に強引に駐車する。本殿の裏側から入り、正面に回ると多くの参拝者で賑わっていた。本殿の彫刻

が立派だったが、周りに植えてある蠟梅も満開で甘い香りが漂っていた。

参拝後、隣接する運動公園を散策し、食べ過ぎたお腹を引き締める。道路の反対側にある神社の社務所に祀られた、福祿寿とナマズの雷電様をお参りし帰路についた。穏やかな好天に恵まれ、歴史とご利益の巡拝コースを楽しく巡ることが出来、2017年は幸せな一年になると確信した。

